

Γεθσημανί

ゲツセーマニ

知っておきたいキリスト教のことば (67)

ゲツセマネ げつせまね

ゲツセマネはエルサレムの市外、東方のオリーブ山の西斜面にある場所です。イエス様が逮捕される直前に祈っていたとされる場所として、聖書には出てきます。

イエス様は十字架の直前、この場所でうつ伏せになり、神さまにこのように祈りました。「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに」。

このお祈りは「ゲツセマネの祈り」と呼ばれます。神さまのみ心に従うイエス様の姿が、ここにはあらわされています。イエス様はこのときに、大きな苦しみを経験しました。彼が受ける十字架は、全人類の罪を一身に背負うものであり、また十字架につけられるということは、彼一人が神さまの裁きを受けることを意味しました。

それでもイエス様はご自分の願いではなく、神さまの思いを第一としました。わたしたちもそのように、祈ることができたらと思います。

ちなみに「ゲツセマネ」とはヘブライ語で「油しぼり(ガス・シェマーニー)」を意味します。オリーブ山にはその名のとおり、オリーブが多く栽培されていました。その一角にある自然の岩を用いて、オリーブ油が搾られていたことから、この名前と呼ばれるようになったようです。

この場所には古くから教会が建てられてきましたが、二度破壊されました。現在では 1924 年に建てられたローマカトリックの「万国民の教会」と、ロシア正教会が建てた「マリヤ・マグダリナ教会」があります。またその場所には、樹齢千年を越す八本のオリーブの木が植えられているそうです。

次回は「顕現」です。楽しみに。



「ゲツセマネ」

カール・ハインリッヒ・ブロッホ

1834~1890 年

それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。

(マタイによる福音書 26 章 36 節)

